



# 伊藤まさひろ県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

## ワクチン接種の加速を

### 遅れがちな市町村へ支援要望

ちば自民党の政調会長として、政策の調査研究と企画立案にまい進している伊藤昌弘県議は、6月定例県議会で登壇し、自民党を代表して質問を行いました。新型コロナウイルスへの対応について伊藤県議は、一刻も早いワクチン接種の完了が求められていると



自民党を代表して質問する伊藤昌弘県議

して、接種の進捗状況を探ね、遅れがちな市町村への支援を要望しました。また、今回の議会が熊谷知事の実質的な初議会になることから、県政運営などの政治姿勢について質問しました。伊藤県議の質疑と熊谷知事らの答弁を紹介します。

添いながら連携を密にしてワクチン確保に努め、しっかりと

#### 感染防止対策認証制度 全県の飲食店に拡大へ

伊藤議員 飲食店の感染防止対策の認証制度について、県はどのように取り組んでいくのか。  
副知事 新型コロナウイルスの感染拡大防止のためには、飲食店における感染防止対策が重要であり、対策が徹底されていることを県が確認し、認証することで、信頼性が高まり、感染防止対策と経済の両立に繋がるものと認識しております。

#### 6月定例県議会代表質問

伊藤議員 新型コロナウイルス

の方々に接種を受けていただくことで重症者などを減らすことが期待されていることから、一刻も早いワクチン接種の完了が求められている。

副知事 市町村では、優先度の高い高齢者等の接種から着手しており、6月21日現在、対象者約170万人に対し、1回目約81万人、2回目約23万人の接種を完了しました。

副知事 市町村では、優先度の高い高齢者等の接種から着手しており、6月21日現在、対象者約170万人に対し、1回目約81万人、2回目約23万人の接種を完了しました。

県においても市町村における接種が円滑に進むよう、千葉県看護協会と連携し、看護師を必要とする市町村と潜在看護師を速やかにマッチングする体制を整えたほか、医師を必要とする市町村と医師のマッチ

ングについて、医師会や関係団体等と調整を行っております。

今後とも、希望者が速やかにワクチン接種を受けられるよう、接種体制の整備等について市町村の意見をしっかりとつかい、地域の実情を踏まえながら市町村に寄り添った支援を行ってまいります。

#### 要望

伊藤議員 市町村の状況をしっかりと把握し、遅れがちな市町村には寄り

副知事 飲食店の感染防止対策の認証制度については、県内の多くの飲食店が、その効果が期待されているものと思われ、県内の感染状況にも差が出ている。今後、認証制度を全県的に実施する際には、地域の状況を踏まえ、各市町村にも意見を聞くなど、きめ細やかな対応をお願いする。

今後、千葉市やモデル認証店などの協力を得て、設備などのハード面や接客などのソフト面について検証を行うつたうえで、認証の基準など

#### 伊藤まさひろ・PROFILE

- 昭和30年 佐倉市に生まれる
  - 昭和53年 日本大学法学部卒業
  - 平成7年 佐倉市議会議員当選
  - 平成11年 佐倉市議会議員再選
  - 平成19年 千葉県議会議員当選
  - 平成23年 千葉県議会議員再選
  - 平成27年 千葉県議会議員3選
  - 平成31年 千葉県議会議員4選
- 現職
- 自民党千葉県連 政務調査会 会長
  - 日大習志野高校同窓会 会長
  - 佐倉リトルシニア野球協会 会長

● 県政や佐倉市・酒々井町のまちづくりに関する悩みごと、気軽にご相談ください!!

伊藤まさひろ 県議事務所  
〒285-0811 佐倉市表町3-6-28  
TEL.043-485-8019  
FAX.043-486-1616

# 熊谷知事、初の定例県議会

## ちば自民党を代表し 今後の県政運営問う 伊藤県議



熊谷知事(左)へ政治姿勢を質問する伊藤県議

の活性化を図るとともに、地域の課題や可能性を的確に把握し、民間の力を活用していくことが重要だと考えています。

そこで、職員採用や人材育成の充実、職員との対話や現場視察、ダイバーシティの推進などに取り組むとともに、市町村、経済界や各種団体と十分に対話を行い、行政の力と県民の英知を結果としてまいります。

### 県内経済活性化へ 次世代の産業創出

伊藤議員 知事は、臨時議会において「東京依存でない千葉経済圏の確立」を掲げた。しかしながら、多

か。  
知事 県政運営において重要なことは、県議会の皆様とともに千葉県の総力を結集することです。そのためには、県庁組織

## 新型コロナ対策へ重点配分

### 6月補正予算

の県民が都内に通勤、通学をしていること、東京は農林水産物などを始めとした県産品の大きなマーケットであること等、本県経済が東京と密接な関係にあることは事実である。

そこでかがが、知事

は県内経済の活性化に向けてどのような姿勢で臨んでいくのか。

知事 本県経済は、ウィズコロナを前提とした生活様式の変化や、デジタル化の進展、脱炭素社会への取り組みなど、社会経済の大

きな変革を迎えることとなります。こうした中においては、農林水産業や観光業との連携などにより、次世代に求められる総合力の高い産業を創出し、地域の新たな雇用につなげていくことが重要であると考えます。

べき施策について、必要な予算を確保しました。

伊藤議員 少子高齢化など社会的な課題の解決には、高度なデジタル社会への変革である「デジタル・トランスフォーメーション(DX)」の実現に向けて、社会全体のデジタル化を推進し

ていくことが必要で、県には市町村への支援という役割も求められている。そこでかがが、行政のデジタル化について、県はどのように取り組んでいくのか。

副知事 機能拡充した電子申請システム等を活用して行政手続のオンライン化を推し進め、手続に要する時間など事業者等の負担を軽減し、生産性の向上を図ることとしています。

また、市町村に電子申請システムの更なる共同利用を働きかけるなど、スピード感をもって行政のデジタル化を進めてまいります。

### アクアライン通行料金 800円の継続要望

伊藤議員 アクアライン通行料金800円の継続について、どのように考えているのか。

知事 アクアラインは沼田県政において、先人の皆様方のご努力において整備

をされたものであり、そして森田県政によってその効果が大きく発現された本県の半島性克服にとつて欠くことのできない施策と考えています。

これからの経済効果をさらに高めていくことが必要と考えていることから、今後も通行料金800円の継続に向けて、国等につきり働きかけてまいります。

### 北総 鉄道 値下げを検討へ 累積損失の解消見込みで

伊藤議員 北総鉄道の高運賃問題に対し、どのような取り組みでいくのか、まず確認しておかなければならない。そこでかがが、知事、今後の県政運営にどのように取り組んでいくのか。

知事 今年18日に同社の室谷社長と会談し、会社の決算や財務状況をうかがう

中、早ければ令和4年度中にも累積損失を解消できる見込みであるとの発言があったため、私から高運賃問題についての検討を要請したところ、社長から積

年の課題である運賃値下げの可能性の検討に着手したいとの大変前向きなお話がありました。

再質問 伊藤議員 値下げ幅や時期

など、具体的な内容についての言及はあったのか。

また、県は今後、値下げの実現に向け、どのように取り組んでいくのか。

知事 社長からは、値下げ幅や時期など、具体的な内容についてのお話はありませんでした。県としては、値下げが確実に実施されるよう求めてまいります。また、その内容につきましても、

継続性を確保できる範囲で、他社のもに近づきよう、働きかけてまいります。

要望 伊藤議員 北総鉄道が今般、運賃値下げに向けた行動を表明したことは、大変大きな決断であり、高く評価したいと思います。ここで、値下げに当たつてぜひ実現していただきたい内容として、2点要望する。

1点目は、家計にとって

負担が大きい通学定期運賃を中心に、最大限の値下げを、出来るだけ早期に実施すること。2点目は、テレワーク等の浸透を踏まえ、都内への通勤需要に依存する取支構造から、沿線域内の移動をより活性化させる運賃体系に改めること。

県としてもぜひ、沿線市と協調して、値下げの実現に向け、積極的に取り組んでいただくよう、要望する。

伊藤議員 アクアラインの継続についてだが、継続に向けて国等につきり働きかけていただくことも、千葉県の負担額については、首都圏全体における効果を踏まえた負担割合を検討するよう要望する。

伊藤議員 アクアラインの継続についてだが、継続に向けて国等につきり働きかけていただくことも、千葉県の負担額については、首都圏全体における効果を踏まえた負担割合を検討するよう要望する。

伊藤議員 アクアラインの継続についてだが、継続に向けて国等につきり働きかけていただくことも、千葉県の負担額については、首都圏全体における効果を踏まえた負担割合を検討するよう要望する。

伊藤議員 アクアラインの継続についてだが、継続に向けて国等につきり働きかけていただくことも、千葉県の負担額については、首都圏全体における効果を踏まえた負担割合を検討するよう要望する。

伊藤議員 アクアラインの継続についてだが、継続に向けて国等につきり働きかけていただくことも、千葉県の負担額については、首都圏全体における効果を踏まえた負担割合を検討するよう要望する。

伊藤議員 アクアラインの継続についてだが、継続に向けて国等につきり働きかけていただくことも、千葉県の負担額については、首都圏全体における効果を踏まえた負担割合を検討するよう要望する。